

<社会情報学環> (認定課程: 高一種情報)

(1) 各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	前期	基礎科目である社会情報概論を通して、現在の社会における情報の問題点を理解するとともに、基礎演習科目等で情報とその活用についての基礎を学ぶ。併せて教育原理を学ぶことで、現代の教育問題と情報の問題に対する意識を持って、情報科教員を目指す意思を明確にする。同時に、情報演習によって最新の情報機器やソフトが扱えることを目指す。
	後期	プログラミング演習でアルゴリズムを、SNSコミュニケーションスキルでは社会における情報の状況を学び、これらの知識・技能を習得することを目標とする。前期の教育原理や憲法と人権の履修を通して教育法規・学習指導要領について自ら学ぶ姿勢を持つ。
2年次	前期	情報処理、アルゴリズム基礎などのデジタル技術について学ぶ基礎的な科目を履修し、その技術の内容を理解していく。また社会情報フィールド等の実践的科目の履修により、情報を生かした将来的な仕事の内容を知り、進路指導に生かせるようにする。なお、この経験を生かし学校ボランティアなどで高等学校の現場に出向き、生徒の状況や高等学校での指導について理解を深めることを推奨する。
	後期	インターネット社会論やAIとデータサイエンス入門などの履修により、前期に得たデジタル技術についての知識が、社会の中でどのように生かされ応用されているかを理解する。同時に、教育社会学などの教職科目を他の学科の教職課程の学生と共に学び、教育実習などに向けた実践的な指導力の基盤を形成する。
3年次	前期	ICT活用教育を通して、ICT機器の教育的利用について知り、教育方法学などで学ぶ様々な学習方法と合わせ、先進的な学習方法の開発を目指す。AIとデータサイエンスなどで、2年次に学んだ技術の知識のさらなる応用を身につけてITパスポートなどの資格取得にも対応できるようにし、幅広い知識を背景とした指導力の獲得を目指す。情報科教育法Ⅰでは高等学校情報Ⅰを中心とした教科情報の指導範囲などを知る。
	通年	社会情報演習(ゼミ)での研究に取り組む中で自分の専門性を確立し、その専門領域を軸として情報に関する知識を増やし、バランスよく指導できる指導力を身につける。
	後期	これまでに得た知識を動員し、情報科教育法Ⅱでは、指導案を立て模擬授業を行い、実践的な指導力をさらに身につける。3年次から始まっているゼミでの研究に取り組む中で自分の専門性を確立し、その専門領域を軸として情報に関する知識を増やし、バランスよく指導できる指導力を身につける。
4年次	前期	教育実習に向けて準備を行うとともに、2週間を有意義に過ごせるようにこれまで得た知識を整理する。卒業論文に向けて、主体的にデータの収集を行い、学習方法の開発や、現状の問題点についての提言などをまとめていく。
	通年	卒業論文の執筆を通して、自分の専門性と向き合い、教職に資する能力が備わっているか、ゼミの仲間や指導教員とディスカッションを行うなど研究を進める。
	後期	教職実践演習を通して、教職に就くものとしての最終確認を行い、社会に出て人に貢献できるようリフレクションを行う。

(社会情報学環)
②具体的な履修カリキュラム

教科及び教職に関する科目（教科及び教科の指導法に関する科目に限る。）（高等学校教諭一種免許状（情報））

科目	教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			最低修得単位数 (本学の最低単位数)	左の科目区分等に対応する本学開設授業科目			備考	
	科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目		単位数	担当教員			
					高				
教科及び教職に関する科目	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	情報社会（職業に関する内容を含む）・情報倫理	高24(24)	○社会情報概論	2	吉田 智子 北村 美穂子 神月 紀輔		
					○情報の科学と倫理	2	北村 美穂子		
					○ICTビジネス論	2	神月 紀輔		
					インターネット社会論	2	北村 美穂子		
					SNSコミュニケーションスキル	2	吉田 智子		
					情報・メディアの文化とリテラシー	2	神月 紀輔		
			コンピュータ・情報処理		社会情報キャリア実習	2	山下 晃平 濱中 倫秀		
					○AIとデータサイエンス入門	2	北村 美穂子 金光 安芸子		
						○AIとデータサイエンス 情報処理	2		北村 美穂子
							2		吉田 智子
					情報システム	伊藤 泰子			
						○プログラミング実践			2
			○アルゴリズム基礎			2		北村 美穂子	
			情報通信ネットワーク		プログラミング演習	2	伊藤 泰子		
					○情報通信ネットワーク	2	安田 豊		
					マルチメディア表現・マルチメディア技術	○インタラクティブメディア演習	2		由良 泰人
						プレゼンテーション概論	2		平野 美保
			プレゼンテーション演習			2	平野 美保		
情報メディアの活用	2	西尾 純子							
教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目	子供のネット安全教育の理論と実践 情報教育	2 2	神月 紀輔 神月 紀輔						
	○情報科教育法Ⅰ ○情報科教育法Ⅱ	2 2	神月 紀輔 神月 紀輔						

○印は免許状取得の必修科目。△印は免許状取得の選択必修科目。

(中等教職課程共通)
教科及び教職に関する科目(教科及び教科の指導法に関する科目を除く。)

科目	教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		最低修得単位数 (本学の最低単位数)	左の科目区分等に対応する本学開設授業科目						備考	
	科目区分	各科目に含めることが必要な事項		授業科目	配当学年 開講期	単位数		共通 開設	担当教員		
教科及び教職に関する科目	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10(12)	○教育原論 教育史	1・2前 2後	2 2	2 2	初等 初等	田中 裕喜	1科目選択必修	
		教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		○教職論	2前	2	2	初等	河佐 英俊		
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		教育社会学 教育経営論	2前 2後	2 2	2 2	初等 初等	原 清治 河佐 英俊		
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		○教育心理学	2前	2	2	初等	高井 直美		
		特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		○特別支援教育	2後	2	2	初等	太田 容次		
		教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		○教育課程論	2・3前	2	2	初等	田中 裕喜		
		道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目		道徳の理論及び指導法	中10(10) 高8(8)	○道徳の指導法	2・3前	2	—		初等
	総合的な学習の時間の指導法		○特別活動・総合的な学習の時間の指導法	2・3後		2	2	初等	河佐 英俊 大西 慎也		
	特別活動の指導法		△教育の方法及び技術 △教育方法学 教育評価	3後 3前		2 1	2 1	初等 初等	東郷 多津 神月 紀輔		
	教育の方法及び技術			3前		2	2	初等	神月 紀輔		
	情報通信技術を活用した教育の方法及び技術		○ICT活用教育	3前		1	1	初等	神月 紀輔		
	生徒指導の理論及び方法		○生徒指導・進路指導の理論及び方法	2・3前		2	2		網谷 綾香	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法を含む。	
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		○教育相談の理論及び方法	2・3前		2	2	初等	網谷 綾香		
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法										
	教育実践に関する科目	教育実習	中5(5) 高3(3)	○中等教育実習事前事後指導	4通	1	1		河野 有時 東郷 多津 加藤 佐千子 喜多 容子 神月 紀輔 田中 裕喜 江川 正一 太田 容次 河野 有時 東郷 多津 加藤 佐千子 喜多 容子	中学校必修	
				○中等教育実習Ⅰ 中等教育実習Ⅱ	4通 4通	2 2	2 2				
				学校体験活動							
		教職実践演習	2(2)	○教職実践演習	4後	2	2	初等	河野 有時 東郷 多津 加藤 佐千子 喜多 容子 神月 紀輔 田中 裕喜		
	大学が独自に設定する科目		中4(2) 高12(10)	道徳の指導法 介護等体験 暮らしと電気・エネルギー 環境教育 国際理解教育	2・3前 2・3通 1 3 4	— 1 2 — —	2 1 2 2 2	初等	河佐 英俊 矢島 雅子 藪 哲郎 佐藤 真太郎 渡辺 智美	高等学校免許のみ 中学校免許必修	
				(大学が独自に設定する科目以外の科目の余剰単位)							最低修得単位数（中55単位、高47単位）を超えて修得した単位数

○印は免許状取得の必修科目。△印は免許状取得の選択必修科目。

④教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目（全学共通）

免許法施行規則に定める科目区分	最低修得 単位数	左の科目区分に対応する本学開設授業科目			備考
		授業科目	単位数		
日本国憲法	2	○憲法と人権	2	横山 真紀	
体育	2	体育講義	1	高田 佳孝	2単位選択必修
		体育実技	1	高田 佳孝	
		健康スポーツ演習	2		
外国語コミュニケーション	2	日常の英会話	1	Isobel Hook Nikan Sadehvandi	2単位選択必修
		旅行の英会話	1	Charles Paul Dan King	
		留学の英会話	1	Charles Paul Thomas Nishikawa	
		おもてなしの英会話	1	Dan King Nikan Sadehvandi	
		ビジネス英会話	1	Thomas Nishikawa Charles Paul Kelada	
		英語実践（4技能）Ⅰ	1	Isobel Hook	
		英語実践（4技能）Ⅱ	1	Nikan Sadehvandi	
		Communication Skills Ⅰ	1	Dan King	
		Communication Skills Ⅱ	1	Thomas Nishikawa	
		Public Speaking	2	Thomas Nishikawa Lyle De Souza	
		Persuasive Communication	2	Isobel Hook	
		Argumentation and Debate	2	Isobel Hook	
数理、データ活用及び人工知能に関する科目	2	AIとデータサイエンス入門	2	北村 美穂子 金光 安芸子	
情報機器の操作	2	情報演習Ⅰa	1	吉田 智子	2単位選択必修
		情報演習Ⅰb	1	大谷 俊郎	
		情報演習Ⅱ	1	吉田 智子	
		情報処理	2	大谷 俊郎 伊藤 泰子 伊藤 泰子	

○印は免許状取得の必修科目。△印は免許状取得の選択必修科目。

5. 免許状取得までの各年次の主なスケジュール

【英語英文学科・国際日本文化学科・生活環境学科・社会情報学環】

年次	主要スケジュール（詳細は掲示板等で確認すること）		教職に関する科目等の標準的な履修年次
1	履修登録時	1年次の配当科目で履修可能な科目を履修する。	憲法と人権、体育講義、体育実技、健康スポーツ演習、情報演習Ⅰa、情報演習Ⅰb、英語実践（4技能）Ⅰ、英語実践（4技能）Ⅱ 教育原理（家庭科） 暮らしと電気・エネルギー
	12月	教職課程説明会	
	3月	教職課程オリエンテーション 履修カルテ入力 教育実習予備調査 履修指導	
2	履修登録時	2年次の配当科目で履修可能な科目を履修する。 取得を希望する免許状の「資格申請」をする（UNIPA）。	教育史、教育経営論、教職論、教育心理学、教育社会学、特別支援教育、情報演習Ⅱ、情報処理 英語科教育法Ⅰ、英語科教育法Ⅱ 国語科教育法Ⅰ、国語科教育法Ⅱ 家庭科教育法Ⅰ、家庭科教育法Ⅱ 日常の英会話、旅行の英会話、留学の英会話、おもてなしの英会話、ビジネス英会話、AIとデータサイエンス入門 （英語科） Persuasive Communication、 Public Speaking、Argumentation and Debate
	10月頃	介護等体験説明会	
	11月頃	教育実習報告会	
	3月	教職課程オリエンテーション 履修カルテ入力 教育実習依頼指導(1) 誓約書提出・実習依頼校申請 教職課程特別講座（履修指導を含む） 介護等体験事前指導開始	
3	履修登録時	3年次の配当科目で履修可能な科目を履修する。 教育実習要件を確認し、前提科目を履修する。 取得を希望する免許状の「資格申請」を確認する（UNIPA）。	教育課程論、道徳の指導法、特別活動・総合的な学習の時間の指導法、生徒指導・進路指導の理論及び方法、教育相談の理論及び方法 英語科教育法Ⅲ、英語科教育法Ⅳ 国語科教育法Ⅲ、国語科教育法Ⅳ 家庭科教育法Ⅲ、家庭科教育法Ⅳ 情報科教育法Ⅰ、情報科教育法Ⅱ 教育評価、ICT活用教育 教育の方法及び技術、教育方法学、介護等体験 （英語科） Communication SkillsⅠ、Communication SkillsⅡ （情報科） 環境教育
	4月頃	教育実習依頼指導(2)	
	5～2月頃	介護等体験7日間	
	11月頃	教育実習報告会	
	12月頃	介護等体験事後指導 司書教諭講習修了証書一括申請手続（該当者のみ）	
	3月	教職課程オリエンテーション 履修カルテ入力 教職課程特別講座（履修指導を含む）	
4	履修登録時	4年次の配当科目で履修可能な科目を履修する。 必要単位の不足はないか綿密に検討し直す。 取得を希望する免許状の「資格申請」を確認する（UNIPA）。	中等教育実習事前事後指導、中等教育実習Ⅰ、中等教育実習Ⅱ （情報科） 国際理解教育 教職実践演習
	4月	教育実習事前指導開始 教育実習の確定登録 教育実習費の納入	
	4～9月	実習校への通学時間などを調べ、実習校と打合せて実習の準備をする。	
	5～10月	教育実習 教育実習終了後履修カルテ入力	
	11月頃	教育実習事後指導 教育実習報告会	
	12月頃	免許状授与一括申請手続 司書教諭講習修了証書一括申請手続（該当者のみ）	
	3月頃	教員採用状況調査	
	3月	卒業式後、免許状交付	

教員採用試験のスケジュールについては、各都道府県・政令指定都市及び私立学校により異なるので、各自で確認すること。